

未来のみつけを考えるタウンミーティング 議事録

日時：令和8年7月16日（木）18：30～20：30

会場：今町公民館 大集会室

参加：16名

質疑応答

【ご意見・ご質問】

イングリッシュガーデンやパティオは県外からも多くの人が訪れる魅力的な場所であり、実際に横浜から朝日を見に来た人や、寺泊で夕日を見る旅行プランを立てている人と出会ったことから、見附市の知名度や魅力が高まっていると感じている。

一方で、パティオの芝生広場では、夕方になると犬の散歩や交流の場となる一方、日中は保育園児などが寝転んで遊ぶ場所にもなっているため、衛生面を考慮し、犬の利用エリアと子どもの利用エリアを分けるなどの工夫が必要ではないか。

【市長回答】

イングリッシュガーデンやパティオなどは、市としても誇りを持っている重要な公共施設であり、今後も維持・活用していく考えである。現在もパティオでは魅力向上や収益性向上に向けた見直しを進めるとともに、駐車場整備にも着手している。市民だけでなく市外からも多くの人に訪れてもらい、「良いまち」と感じてもらえる施設としてさらに充実させたい。犬の利用に関する意見についても、今後の施設運営を検討する際の参考意見として受け止める。

【ご意見・ご質問】

柏崎刈羽原子力発電所が再稼働する中、見附市も30km圏内に含まれているにもかかわらず、市から原発に関する説明を聞く機会が少なかったと感じている。市長として原発再稼働や防災対策についてどのような考えを持っているのか伺いたい。

【市長回答】

原発は事故を起こさないことが最も重要であり、その上で万一の事故に備えた避難対策や雪国特有の事情も踏まえた避難計画の実効性向上が必要と考えている。

また、30km圏内自治体として市民が避難訓練への参加や不安を抱えていることを踏まえ、国や県に対し支援措置の拡充を要望してきた。再稼働については知事の判断を尊重する立場であり、市としては今後も県や東京電力の安全対策や避難対策を注視するとともに、毎年の避難訓練などを通じて市民の安全確保に努めていく。30km圏内自治体への支援制度の充実にも期待している。

【ご意見・ご質問】

「見附の未来を考える」というテーマが示されているが、誰がどのように未来を考えるのか。

また、タウンミーティングで出された意見がどのように集約され、計画へ反映されるのを知りたい。さらに、市民アンケートにある「社会情勢の変化などにより市民ニーズに合わなくなった施設」とは、現時点でどのような施設を想定しているのか。

【市長回答】

「未来を考える」とは、市民と行政が一緒になって公共施設の将来を考えるという意味である。現在は検討段階であり、来年3月にアクションプラン案を公表する予定である。今日寄せられた意見も検討の参考とし、すべてを反映するわけではないが、採用しない場合でも説明責任を果たしていきたい。市民ニーズに合わなくなった施設については現時点で決まっているものではなく、今後、市民の意見も踏まえながら検討していく。

【高橋 CSO 回答】

現時点で対象施設は決まっていない。各施設について、老朽化の状況、維持管理コスト、将来負担、利用状況、代替施設の有無などを整理したカルテのようなものを作成しており、それらを根拠として評価・検討を進めている。今後、検討結果を基にアクションプランとして市民へ説明していく予定である。

【ご意見・ご質問】

公共施設は利用人数だけでは必要性を判断できず、高齢者や交通弱者など利用者が少なくても必要な施設がある。財政面を考慮しながらも「誰一人取り残さない」という視点を大切に、弱い立場の人に配慮した施設のあり方を検討してほしい。

また、アクションプラン策定までのスケジュールや、市民意見を反映する流れについても説明してほしい。

【市長回答】

「誰一人取り残さない」とは、すべての要望を実現するという意味ではなく、市民が安心して暮らせる環境を維持するという考え方である。施設の見直しは必要だが、データだけでなく様々な意見を踏まえながら市全体として最適な形を検討していく。3月にアクションプラン案を公表した後も説明会や意見募集を行い、必要に応じて修正を検討する。

また、施設の統廃合だけでなく、移動手段の確保なども含めて総合的なまちづくりとして考えていく。

【ご意見・ご質問】

①パブリックコメントは回答して終わりではなく、担当者名を明記するなど、その後も意見交換できる仕組みが必要ではないか。

②資料の施設一覧について、道路なども含めた整理や分類方法を工夫した方が分かりやす

いのではないか。

③年間 1～2 億円削減という目標の算出根拠を示してほしい。

④公共施設グランドデザインだけでなく、立地適正化計画や地域公共交通計画と一体的に考えるべきではないか。

【市長回答】

①パブリックコメントへの対応については、より丁寧な方法を検討していきたい。

②資料については道路などのインフラは今回の検討対象外として整理しているが、分かりやすい説明となるよう改善を検討する。

③削減目標は経常経費を 10 年間で 1～2 億円改善することを目標としており、施設統廃合だけでなく料金見直しなども含めた経営改善を想定している。

④公共施設、立地適正化、公共交通などの計画はそれぞれ検討しつつ、相互に連携し、関係性が分かるよう工夫して説明していく。

【高橋 CSO 回答】

削減目標は、施設統廃合や民間委託、DX 推進、省エネルギー化などによる経常経費の改善額を積み上げて設定している。見附市はもともと公共施設面積が比較的コンパクトであるという強みがあり、単純な面積削減だけでなく、多面的な視点から公共施設の最適化を進めたい。

また、資料についても市民に分かりやすい内容となるよう改善を進める。

【ご意見・ご質問】

運動公園の野球場、陸上競技場、テニスコートは、冬季は利用できないものの、シーズン中は県外からも多くの利用者が訪れ、大変活気がある。実際に県外利用者からパティオへの行き方を尋ねられるなど、スポーツ施設が周辺施設の利用促進や見附市の知名度向上にもつながっていることを考慮してほしい。

【市長回答】

運動公園が多くの利用者に活用されている状況は十分認識している。こうした利用実態も踏まえながら、今後の公共施設のあり方について検討していく。

【高橋 CSO 回答】

イングリッシュガーデンやパティオについても、市職員や議会から様々な意見が寄せられている。高齢者の利用しやすさなども含め、本日の意見を参考にしながら今後の施設のあり方を検討していきたい。

【ご意見・ご質問】

①総合計画に掲げる「歩きたくなるまち」の理念に対し、イングリッシュガーデン周辺では草木が繁茂し歩道やベンチが利用しにくい状況が見られる。

②若者の自殺事案を踏まえ、地域で命を支える取組を強化すべきではないか。

③雪対策では富山市のような市民参加型除雪など他自治体の取組も参考にしてほしい。

【市長回答】

①歩きやすいまちづくりは重要な施策であり、遊歩道の維持管理については地域とも連携しながら改善を図っていきたい。

②若年層の自殺対策についても重要課題と認識しており、寄り添った支援策を検討していく。

③雪対策については、今年からコミュニティバス停へのスコップ設置を開始しており、今後も地域や市民の協力も得ながら除雪体制や雪対策の充実を進めていく。

日時：令和 8 年 7 月 18 日（土）10：00～11：00

会場：ネーブルみつけ 研修室 1

参加：13 名

質疑応答

【ご意見・ご質問】

私は昔、都市計画を学び、仕事でも扱ったことがあるので、どうしてもそちら方向の視点で考えてしまうのだが、稲田市長の前の市長の時代には、公共施設が拡大傾向だったので、正直、大丈夫かなと心配していた。人口減少の影響で公共施設がある程度人口規模に応じて縮小されるというのは、それは時代の流れかなというふうに思う。そのような中でまちづくりという立場から、地域にとって残すものは何かという視点を加えた方がいい。見附市の都市計画マスタープラン、あと立地適正化計画、総務省の小さな拠点、そういった取り組みを注視しながら、拠点ごとにどういう機能を残していったって、どういうものは必要ということを考える必要がある。例えば病院は市に一つしかいないと思うのだが、ほかにも小学校の学区に一つなければいけないもの、それからコミュニティに一つなければいけないものといった視点を盛り込んだ方が市民にとってわかりやすい。

もう 1 点は、都市計画マスタープランがあるが平成 20 年代以降改訂されていなくて、人口減少の状況等、現状に合っていないと思う。あれが土地利用の一番の元になるので、検討が必要だと考える。学校の再編のタウンミーティングときも同じことを言っているのだが、学校の配置を見直したら、それに伴ってまちづくりの方針を見直してもらいたい。

最後にネーミングライツを活用できないか、見附市の規模を考えると難易度は高いかもしれないが、伺いたい。

【市長回答】

確かに公共施設は、積極的に整備してきたとは思いますが、それが悪いことだとは思っていない。市の負担を少なくするという工夫をしながら整備して、良い施設が多くあると思っている。ただ、やはり人口減少が進行するなかで、立ち止まって、今後のあり方をみんなでしっかり意識しながら見直す部分は見直していかなければならないと思っている。

また、質問にあった地域にとって残すものは何かという視点は重要だと思う。集約できるような機能と、やはり地域に必要な機能がある。今回グランドデザインの中ではっきりとは示せていないが、重要な点として防災や避難所機能については、しっかりと配慮していかなければならないと思っている。

コミュニティという単位でいえば、ふるさとセンターというのは重要な機能だと思っている。見附には 11 の地域コミュニティができ、地域ごとにしっかりとした機能を持たせているものである。学校再配置の計画は発表したけど、それに伴って、地域コミュニティを再編することは考えていないし、地域ごとのふるさとセンター機能という必要だと思っている。

また、今回の案は説明のとおり、まずは第 6 次総合計画をもとにしているが、公共施設の

廃止はまちづくり全体にも影響するので、各種計画との整合なども検討していく。将来のまちづくりのあり方、このまちがどうあるのかということをしっかり考えながら、今後、具体的なアクションプランが出てきたときにはご意見の主旨等を説明できるようにしていきたい。

【高橋 CSO 回答】

最後のネーミングライツについての質問だが、マネタイズの考え方に関しては可能性がないわけではない。その他も含めて可能性はあると思っている。採算性だけを考えるのか、何をブランディングをしてもらいたいなどを踏まえて考えなければいけない。確かに見附市の魅力ある施設に、八十里越え等の影響でより多くのチャンスがあると思う。いろんな方がネーミングライツをしていただける可能性を考えていきたい。

【ご意見・ご質問】

当地区の今町中学校への通学において、多くの生徒が平常時は自転車を利用している。冬場は、午後 4 時台と 6 時台の毎日 2 便運行されているコミュニティバスを利用して下校しており、大変助かっている。学校統合後も、下校用バスの運行を継続できるよう計画に盛り込んでいただきたい。これは区長からの強い要望でもあるため、ぜひ検討を求める。

あわせて、三林地区において上水道の老朽化による漏水が発生した際、市へ対応を依頼したところ「市の管轄外である」との回答であった。結果として、接続部分のみを応急的に修繕し、住民が個別に 20 数万円の費用を負担することとなった。

しかし、設備全体が古いため、今後も同様のトラブルが発生する可能性が高い。根本的な改修には 1,000 万円以上の費用を要する見込みであり、上下水道局の幹部を交えた説明会も開催されたが、原則として対応不可との見解であった。「安心・安全で住みやすいまちづくり」を掲げる市として、本件を市としての支援や改修の検討を盛り込んでいただきたい。こちらでも地区からの強い要望である。

【市長回答】

今町中学校と西中学校の統合に伴い、特に中学生の通学手段を確実に確保すべきというご要望として受け止めた。両校の統合後は通学距離が非常に長くなり、徒歩や自転車のみでの通学は困難になると認識している。そのため、今年度中に移動手段のあり方について重点的な検討を進めている。基本的には公共交通機関（無料での利用を含む）の活用を第一と考えているが、それが難しい場合はスクールバスの導入や、現在今町田園地区で積極的に活用されている福祉ワゴンの運用なども選択肢として検討していく。遠距離通学となる生徒の移動手段については、今年度中に方針をまとめ、できるだけ早い時期にお示ししたい。

水道設備に関するご相談は個別の事情が絡む案件であるため、改めて詳細を伺いたい。担当部署および市長自身へ確実に情報が共有されるよう対応する。改めて正式なご要望をいただきたい。

書面等でいただいたご意見

【ご意見・ご質問】

なぜ今公共施設の最適化が必要なのかはよくわかった。公共施設の統廃合が今後出てくるだろうと思うが、廃止されることにより公共サービスが受けられない部分にも何らかの代替案（充実案）もあわせて出してもらいたいと思った。

【市の見解】

統廃合による公共サービスの低下ができるだけ生じないように、ご意見を参考に検討を進めていきます。

【ご意見・ご質問】

PDCA に関する記述がないようです

・「年間 1 億円～2 億円の収支改善」という目標があるので、定期的な評価・分析がひつようでは。

【市の見解】

「見附市公共施設等ランドデザイン（案）」については「見附市公共施設等総合管理計画」および「見附市公共施設個別施設計画」に方向性を与えるものであり、評価・分析においては「見附市公共施設等総合管理計画」および「見附市公共施設個別施設計画」で詳細を記載することを想定しています。

【ご意見・ご質問】

目標として、具体的な金額が示されています。しかし、金額の重み・程度が分かりにくい。ランドデザインとしてはもう少し緩やかな目標設定もあるのでは？

・1 億円・2 億円の内訳は？その額は、例えば、財政調整基金や経常収支比率との関連あり
目標設定の提案

①施設の削減量

人口予測では、20 年後には、現在比 20%の減。このため、建設資産も、現在比 20%程度を削減した水準とする。【建物資産は、現在比 30%の減、新規需要 10%の増で、差引 20%の削減】

②市民一人当たりの管理運用経費

毎年度、前年度を上回らないこと

【市の見解】

この数値目標は、中長期財政見通しを踏まえた、公共施設の最適化で目指す金額という位置づけです。様々な取り組みが必要だと考えているなかで、市民サービスの低下を抑えながら目指す金額として、現在の経常経費の現状などを踏まえながら設定したものです。

ご提案いただいた、人口に対しての目標や市民一人当たりの管理運用経費に対しての目標も検討させていただきましたが、見附市ではソフト、ハードをあわせた経常経費で 1 億

円～2 億円の削減を目標としました。

【ご意見・ご質問】

市の公共施設の全体及び、今回、計画の対象とする施設を分かりやすく表示していただきたい。

・近隣市の計画書等には、指定様式とされる「4 頁と同様の公共施設状況表」は見つからず独自の集計資料が掲載されている。(なお、表・グラフ等で「その他」を末端に記載することは、小学 3 年算数の学習事項なので、4 頁の表には、児童・市民が戸惑うのでは？更に、4 頁の表には、「その他」の付くものが 3 つもあり、違和感)

・近隣市の例では、建物資産（11 区分）とインフラ資産（5 区分）に分類している。

【市の見解】

P4 を修正し、わかりやすい表現に変更予定です。

【ご意見・ご質問】

市の公共施設等総合管理計画にある記述と似ているので、ランドデザインとしては省略して良いのでは。

・4 頁の施設類型と、6～8 頁の施設タイプの関連がわかりにくい

・例 4 頁では「幼稚園・保育園・こども園」は、8 施設とあり 7 頁では、3 園で、他は何か不明。

【市の見解】

P4 を修正し、わかりやすい表現に変更予定です。

また、「見附市公共施設等ランドデザイン（案）」は「見附市公共施設等総合管理計画」に方向性を与えるものになるため、現状の「見附市公共施設等総合管理計画」と記述は近いものであっても、省略することは考えておりません。

【ご意見・ご質問】

アクションプランの作成について、全ての施設が 2 軸で評価・分類（9 頁 STEP 6）された後に、最終的に、施設の統廃合や配置の計画が検討されるかと思います。

・ネット検索すると、「人口減少下の公共施設は、『三層構造』で設計する。」と記載がありました。

例 ①【地域コミュニティの範囲】②【現在の中学校区の範囲】③【全市の範囲】

市の立地適正化計画では、地域コミュニティに関して、「生活サービスにかかる施設充足度の状況（29 頁）」「地域コミュニティ別施設一覧（34, 35 頁）」が整理されています。

これを元に、20 年後を想定した、「地域コミュニティごとの人口見通し」、「公共施設の配置計画」及び「施設の統廃合に伴う負の影響（があればそれ）を緩和する交通計画」の姿を市民に示し、まず、地域コミュニティごとの合意形成を図ることが必要ではないでしょうか。

【市の見解】

ご意見ありがとうございます。アクションプランの作成において、参考にさせていただきます。

【ご意見・ご質問】

計画策定前のアンケートの実施について、具体的な数量を示して、計画策定前に、

①庁舎に勤務する市職員の皆さんの考え

②中学生・高校生年代の考え（「市こども条例 第13条」）

③市民の考えを確認しても良いのでは？

・加茂市の例（再編計画作成の1年前のR5年度にアンケート調査を実施とのこと。）

・内容：「総量を、現行の40%減とする市の目標」に対して、①賛成62%②更に厳しい目標とすべき16%の回答 その他に、①サービス水準の引き下げ ②利用料金の値上げを容認する回答あり。

【市の見解】

ご意見ありがとうございます。参考とさせていただきます。なお、「見附市公共施設等総合管理計画」、「見附市公共施設個別施設計画」及び「アクションプラン」の作成においては、適宜、その計画等の性質に合わせて市民の方のご意見をいただく機会を用意する予定です。